

ま え が き

本県は「日本のひなた宮崎県」のキャッチフレーズが示すとおり、日照時間や快晴日数に富む温暖な気候であり、県土の76%を占める豊かな森林や水資源、多様な動植物など、素晴らしい環境に恵まれています。

その一方で、地球温暖化に伴う豪雨や台風、高温などの異常気象、生態系の変化や生物多様性の損失、海洋プラスチックごみ汚染などの環境問題は地球規模で深刻化しており、私たちの身近な生活にも影響を及ぼしています。

私たちは気候変動を止められる最後の世代と言われており、県民一人一人が環境問題を自らの課題として捉え、ライフスタイルや社会経済システムを環境に配慮したものに転換し、県民、事業者、団体、行政等が力を合わせて環境保全に取り組んでいくことが重要です。

このため、県では、環境行政の基本方針である「第四次宮崎県環境基本計画」を令和3年3月に策定し、目指すべき環境像として「ひと・自然・地域がともに輝く持続可能なみやざき」を、重点プロジェクトとして「2050年ゼロカーボン社会づくり」及び「みやざき地域循環共生圏づくり」を掲げ、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

この白書は、令和3年度の本県における環境の状況と、環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様が環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組が更に進むことを切に願っております。

令和5年1月

宮崎県知事 河野 俊嗣